

まらまら

今、ひとりひとりが...

特集 「地域から発信！」

男女共同参画社会の視点でみる日常生活・・・5

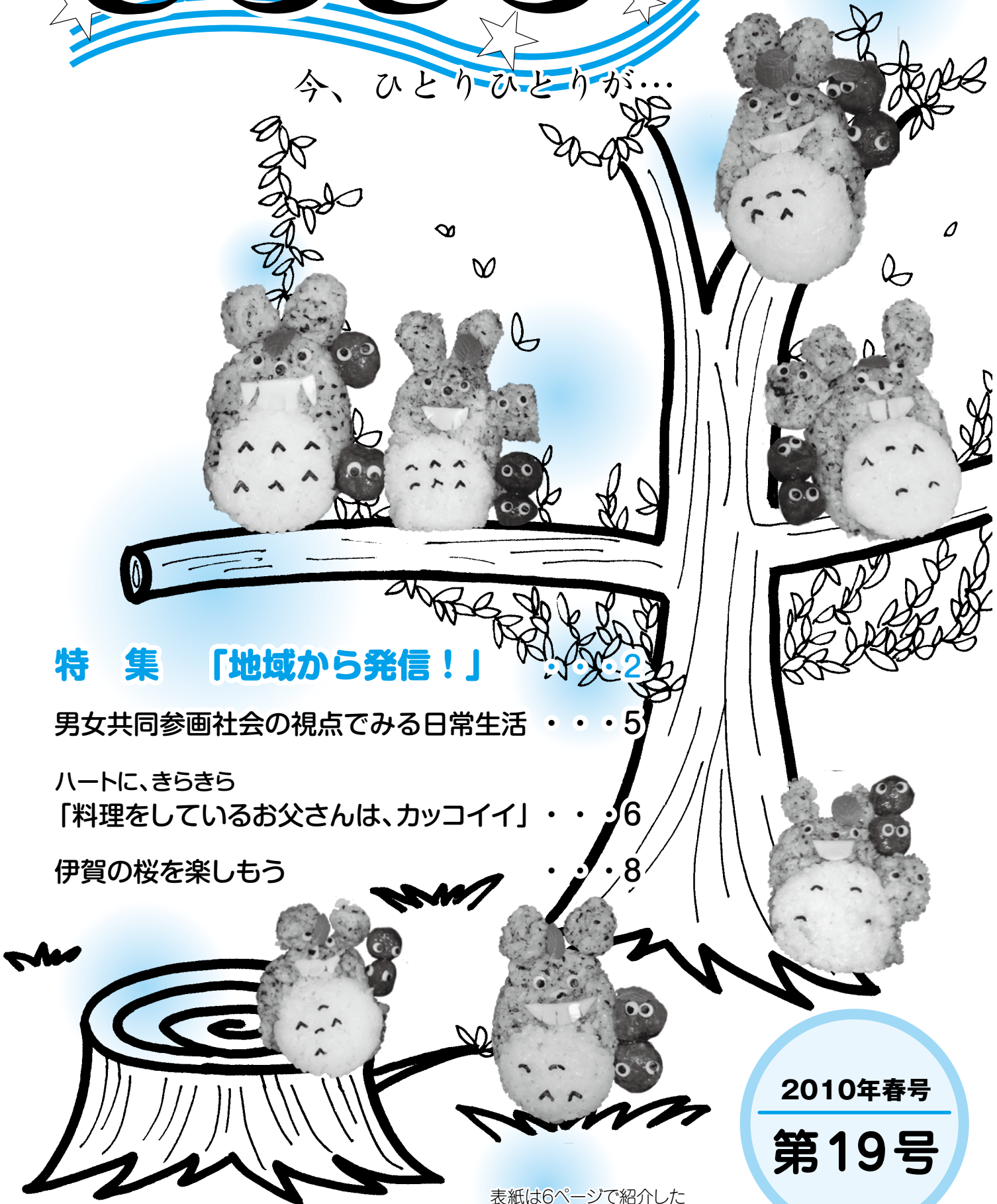
ハートに、きらきら
「料理をしているお父さんは、カッコイイ」・・・6

伊賀の桜を楽しもう・・・8

2010年春号

第19号

表紙は6ページで紹介した
トロロのキャラクター弁当です。



人と人のつながりの間で

村田雅子さん

良きパートナーに感謝！

縁あって、大山田へ

村田さんは、結婚当初、京都の国立療養所看護学校の教官。その後、看護師長となり、夜勤もこなし、かなりの負担の中、長男を出産。

「当時、長男を療養所内の保育所、時間外は友人宅、病気の際は三次保育を利用し仕事を続けてきました。

育児や家事を全面的に協力してくれた、良きパートナーの存在も支えになりました。」

「三年後、長女出産をきっかけに、仕事を辞めました。と同時に一本の電話が縁で大山田にお世話になっていきます。」

「のどかな環境の中で、次女、次男を出産。専業主婦で子育てを続ける中、「子育てってこんなものなんだろうか、他のお母さんはどうしているんだろうか…」と思い始めていたそうです。」

新しい仲間

それなら、お母さんたちの情報交換の場を作って子育てを楽しもう！保育園のお母さんに声をかけて、育児サークル「ハートフルママ」を立ち上げました。

「ハートフルママで、たくさんの子どもやお母さん達とふれあい、楽しみ、苦労しながら友達の輪を広げていくことが大きな宝物です。」

「子ども達が大きくなった今も、月に二回保育ボランティアで参加し、楽

しい時間を過ごしています。」また、「診療所で看護師をしているので、健診などで、小中学校に行くこともあり、小さい頃から見守っている子どもたちの成長がうかがえ、とても嬉しいです。」と、子どもたちと関わる喜びを笑顔で語ってくれました。



「むらびと塾」

「むらびと塾」とは、「大人が変われば子どもも変わる」「地域が変われば子どもも変わる」をスローガンに平成十三年発足。大山田の歴史や将来、自然や環境そして、地域を担う「むらびと」を育成するための活動で、対象を

伊賀市民とし講座等を開催しています。

村田さんは、以前から、大山田に住んでお世話になっているのに地元のことを知らない、自分は色々知りたいと思っていました。そこで、サークルや小学校のPTAで知り合った友人たちと、「むらびと塾」を始めました。

最初は、参加者が少なくても、車座で語りあうこともいいのでは、と地元の方に講師を依頼し始めました。そして、さまざまな企画を立て、回を重ねるごとに、参加者も増えてきました。

「参加者から、良かった、楽しかったと声を聞くと嬉しく、次の企画の励みになります。テーマによっては、年齢層、性別もさまざまですが、何かの力になればと頑張っています。」

今のところは、種時きの時期。徐々に成果が出てくると思っています。

人と人のつながりが出来て、それぞれみんなが育っていく、と同時に、自分も育っていく。そんな実感を抱きながら、活動を続けていければいいな、と思っています。」



から発信！

、心が豊かになります。
ら」というお二人を紹介します。

特集 地域か

人は、人と関わることで
そのきっかけづくりを、「地域か

夢を叶えた！

時折、電車の音が響く田園風景。短い坂を上ると『えほんのへや パグ』と可愛らしいプレートが出迎えてくれます。

思わず「ただいま」と言いたくなる



大好きな絵本に囲まれて

稲田節子さん

ような懐かしい縁側に靴をならべて中に入ると、ゆったり本を読む部屋と、奥にはぎつしり詰まった本棚があります。

稲田さんは、幼稚園の元園長。

「退職をしたら、今まで集めてきた大好きな絵本をたくさんの人にふれてもらい、絵本の素晴らしさを知ってもらいたい。」と、夢を叶えられました。

絵本のソムリエ？

蔵書する本は、子ども向け約三千冊、大人向けも合わせると約五千冊。

子ども達の喜ぶ顔や、大好きの人が集まっておしゃべりする様子を思い浮かべながら、楽しんで整理しています。

本は、高さがさまざまなので、だれもが、手に取れるよう、子どもの背の高さに合わせ、下の段から幼児向け、小学生向きに並べ、絵本はカバーも帯も付けたままにして一冊まるごと楽しめるように工夫されています。

「絵本によつては、カバーや裏表紙にも物語の続きがあるんですよ。」と

教えてくれました。

「クリスマス本の絵本は、特にたくさんそろっています。私のおすすめ、私の好きな本ばかりなので、尋ねられたら、喜んでアドバイスしますよ。」

早速、編集員の体験から伺いました。子どもが同じ本を何回も読んでと言いますが……？

「何度も読んであげてください。同じところで必ず笑って、話を先に言ったりと、読み手の大人が気がつかない発見や感動を子どもたちは楽しんでいるのです。」と笑顔で答えてくださいました。

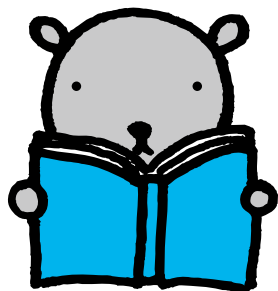
稲田さんの思い

現在、言葉の省略化、乱暴な言葉が氾濫している世の中に危機感を持たれています。

「子どもは、何でも素直に物事を信じます。何でも吸収する大切な幼児期こそ、大人から、日本語の正しさ、美しさを丁寧に伝えてほしいのです。その為には、一緒に散歩して会話を

したり、膝に乗せて絵本を読んであげたりと子どもと同じ時間を共有してほしい。」と。

仕事や家事で、ゆっくり読み聞かせをする時間がないというお母さんお父さん、心配しないでください。子どもと同じ目線で、たくさん会話をすることが大切です。



どんなに忙しくても後回しにしないで、子どもの存在に感謝をして、「ありがとう」の言葉をいつもかけてあげてほしいです。

さあ、今夜は、大人も子どもも、絵本を読んでみませんか。

もっと聞きたい、絵本のこと



アニメや脚色された絵本がたくさんありますが、原作者の意図とする物語の内容が変わってしまうことが多々あります。

例えば、アニメの「アルプスの少女ハイジ」も、原作では、ペーターのおばあさん、クララのおばあさんの生き方や、アルムじいさんの心の変化など、大切に描かれています。

稲田さんは、何度も読むことで、原作者の思いや自分の思いを重ねます。

自分で読み取り、発見する感動を楽しんでほしいです。



「絵本の部屋 パグ」

開館日 毎週土曜日

午後一時から四時

貸し出し期間 一ヶ月

貸し出し冊数 五冊まで

必ず、大人の人と来てください。

「むらびと塾」に参加して

村田さんは、長靴を履いていた。「むらびと塾」のフィールドワークは福井健二さんの案内による城館めぐり。それは、いわば堀と土塁めぐりだった。

見事な土塁を私は、這うようにしてよじ登った。登れば下りなければならぬ。それは、さらに怖かった。木の枝をつかんだり、すべったりしながら必死に付いていった。

「子どもの頃、よう遊んだところや〜。」というお年寄りの声、その通りだ。子どもたちにこんな自然に恵まれたところで遊ばせてやりたい……。とハアアしながら思った。

最後の城館跡をあとにして下りてくると正面に真泥まで見渡せる景色が広がった。

「ここで、敵を見張っていたんやる？」参加者の方々の声から、乱世の時代、大山田の人々の暮らしはどんなだったんだろう。という思いが湧いてきた。村田さんが、マイクで解散のあいさつをすると、「来年もあるんですか？」と期待する声。

女性の参加も多く、大変ながらも？楽しいひと時を過ごさせていただいた。（編集員M）



中央が村田さん

男女共同参画社会の視点でみる日常生活



- 家庭を持っている男性が、洗濯をしたりスーパーで買い物をしている姿を見ると気の毒に思ってしまう。
- 町内活動等でリードするのは、男性の役割だ。
- 「男の子だから泣かないの！」とか「女の子なら〇〇しなさい。」とつい言ってしまう。



「男女共同参画社会」は、誰もがいきいき心豊かに生きられる社会です。
性別を理由に、生き方が制約されるのは人権が尊重される社会とはいえません。
あなたの周りの「当たり前」を見直してみませんか？

「日本女性会議2009さかい」に参加して

平成21年10月30～31日 大阪府堺市

「大会テーマ『山の動く日きたる～ジェンダー平等の宇宙へ～』と題し開催された。堺は、女性の自立を訴えた与謝野晶子のその生き方とメッセージを育んだ故郷である。大会テーマは彼女の詩を引用してあり「すべて眠りし女、今ぞ目覚めて動くなる」とあり、参加者たちの意気込みを感じました。」

特別講演は、『貧困のない世界をめざして』と題して、世界的に有名なジェフリー・サックス氏（国連事務総長顧問・コロンビア大学地球研究所所長）。

今、貧困が格差社会や差別を生んでいる。現在、世界中で、妊娠や出産が原因で1分に1人お母さんが亡くなっている。その大半は貧困が原因でアフリカやアジアの諸国の10歳代それも小学生ぐらいの女性たちであること。戦争や出稼ぎで男性が少なく、女性や子どもが虐待や性的になっていること。など、深刻な状況であることを訴えられた。

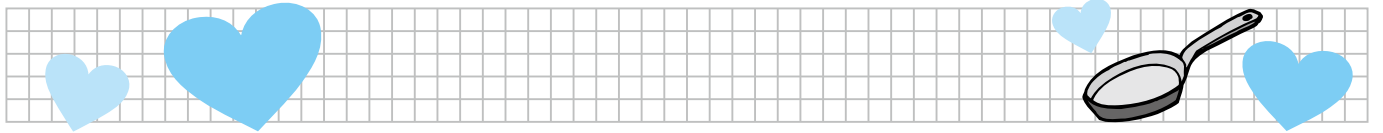
男女共同参画課 三根秀徳

お知らせ

いきいき未来いが2010

開催日 平成22年6月26日(土) 場所 あやま文化センター

男女共同参画講演会など盛りだくさん!! みなさん、ぜひ参加してください。



3. 待ってました！！

いよいよメインのトトロのおにぎり作り。親子は、「待ってました！！」と言わんばかりに、一段と真剣な表情でおにぎり作りに挑戦。
チーズやのりで目や口を作る細かい作業もあり、案外大変！！



ストローでの、型抜きは、楽しいな。

4. 完成！！大きなお父さんの手から、素敵なお父さんのトトロが完成！！

表紙のトトロを見てね♪

みんなのお弁当箱におさまった‘トトロ’と‘まっくろくろすけ’写真を撮らせてね！と声をかけると得意そうに見せてくれました。早く帰ってお母さんに見せたいところでしょうが、完成したのは、12時、編集員特製の豚汁を食して無事終了しました。きっとご家族の方とは、お弁当の話題で会話がはずんだことでしょう。



編集員Mの作品

みんなの感想



妻が応募して、このような場所に初めて参加しました。
とても、楽しかったです！！

子どもと一緒に思い出作りができて、良かったです。



「キャラ弁」作りは、楽しかった。



形を作るのは、むずかしかったけど、おもしろかった。



料理をしているお父さんは、カッコイイ！また作ってほしいです。



明日は、ママの誕生日なので、プレゼントにします。



出来上がりの満足気な笑顔が忘れられな～い。行楽などにぜひ、実践してね（きらきら）



ハートの卵焼きを焼くお父さんってステキですよ！（きらきら）



料理をしている お父さんは、カッコイイ!!

1月23日(土) いがまち福祉センターにて、7組の料理初心者父子と、きらきら編集員で、アットホームな「父子キャラクター弁当作り教室」を開催しました。

1. まずは、おかず作り

普段から、家ではあまり料理をしないお父さん達
調理の細かいところまで真剣な面持ちで取り組んでます。

お父さん
がんばって



2. 一緒に、楽しく!!

小さい子どもに、包丁や、火を使わせるのが心配な様子のお父さん……
でも、すぐに手を出さず、じっと見守っている姿が印象的でした。



はじめてだけど
上手にできたよ

ごはん(トトロ)

材料 2人分

ご飯……………100g	・ストロー (大きめ)
スライスチーズ……少々	・ラップ
海苔……………少々	・はさみ
黒ゴマ塩……………適量	
ミント……………1枚 (トトロにかざる)	

※なければきゅうりで代用

作り方

- ①ご飯3/4に、すり鉢でつぶした黒ゴマ塩を混ぜ合わせる。
- ②①のご飯20gほど残し、ラップで小判型に握り、お腹部分を指でくぼませておく。(トトロの形)
- ③①で残した白いご飯をラップで平らな丸にして②のへこませた

お腹部分にのせ、再びラップで丁寧に形を整える。

- ④チーズをストローで抜いてトトロとまっくろくろすけの目を作る。さらにひし形につぶしたストローで抜いてトトロ鼻を作る。三日月形にカットして数本切り込みを入れ、トトロの口を作る。
- ⑤海苔をカットして、トトロとまっくろくろすけの腫、トトロの鼻、体の模様を作る。(ミートボールに目を付けてもまっくろくろすけになるよ)

組み立て

- ①作り方③のおにぎりを、おかずとともにお弁当箱に詰める。(トトロの顔が少し持ち上がるように、レタス少量を枕にする)
- ②作り方②のトトロの耳を頭部分に固定する。好きなところに、まっくろくろすけも詰める。
- ③作り方④のチーズのパーツを置き、作り方⑤の海苔のパーツを貼る。ミントの葉があれば、トトロの頭部に置いて完成。なければ、キュウリを葉っぱの形に切っただけでも良い。

正午の時報に
市役所で流れ
ているね

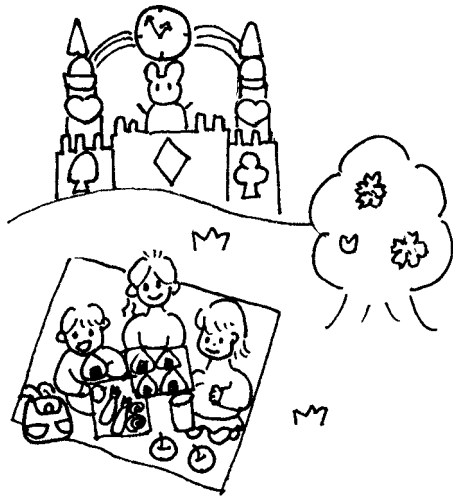
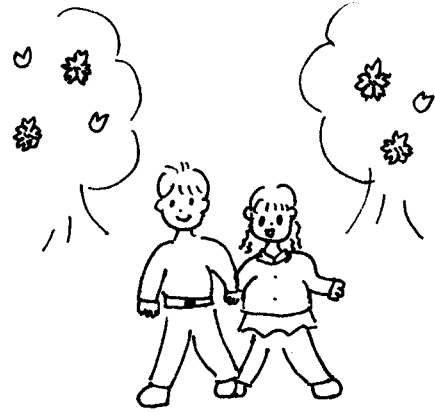
伊賀の桜を楽しもう

「さまざまのこと思ひ出す 桜かな 芭蕉」

桜を眺め、思い出にふけったり、日ごろの雑踏を忘れ、リフレッシュに出かけませんか？
伊賀には色々な、桜の名所がありますが、きらきら独自の目線で紹介します。

白鷺公園（伊賀市西明寺）

ソメイヨシノ40本、八重桜20本、芝生広場には築山がありボール遊びやお弁当。ゆっくり寝そべてみても気分爽快！時間を気にしなくても、からくり時計が知らせてくれるよ。



桜山公園（伊賀市阿保）

青山の人なら知っている！？桜山公園は、小高い丘の上であり桜越しに阿保の町が一望できる。夜桜もOK。私が行ってみたい所は、しだれ桜で有名な天照寺。霧生まで山々の桜を見ながらドライブを楽しむのもいいかも。

花垣の八重桜 [県天然記念物]

樹高6m、雌しべが2つある珍しい桜
花垣神社境内には芭蕉の句碑がある

「一里は みな花守の 子孫かや 芭蕉」



桜 春の訪れを心待ちにしている私たちに、笑顔を見せてくれる、歴史を感じる格調高い花、日本の春を身近で満喫してみませんか。

読者の声

各戸配布になってから、読ませてもらってます。今回の18号は、特集「イガメン・イガジョ婚活事情」のタイトルが目に入り、いつもより関心を持って読ませてもらいました。

自分も独身で、「結婚はあきらめムード」だったのですが、もう少し前向きに考えて「自分が一歩アクションを起こそうかな!」という気持ちになりました。
(38歳 男性)

編集後記

Hさんといつしよにきらきら編集員になりました。主にキャラ弁作りを担当していました。普段当たり前のようになっている料理でも、いざ教えるとなると思っていたよりも難しくかったです。そんな中：父子で助け合って作っている姿はとても微笑ましく心が暖かくなりました。
(S)

【きらきら編集委員】

稲増 博美 岡 久美子
澤村裕富子 竹山佐代子
廣澤満美子 三山佳代子